

当院では、下記の臨床研究を実施しています。研究概要は以下のとおりです。

【研究課題名】

静脈血栓症を有する悪性腫瘍関連脳梗塞に対する経口活性化第Ⅹ因子阻害薬と未分画ヘパリンの有効性と安全性の多施設共同後方視的観察研究

【目的】

悪性腫瘍に伴う動脈塞栓症、特に脳梗塞を発症した患者さんの脳梗塞再発予防に対する治療には抗凝固療法が推奨されており、日本ではワルファリン、未分画ヘパリンが保険適応となっています。また、静脈血栓症を伴う場合は、経口活性化第Ⅹ因子阻害薬（リバーロキサバン、アピキサバン、エドキサバン）も保険適応です。しかし、未分画ヘパリン、経口活性化第Ⅹ因子阻害薬について大規模に有効性を検討した研究は行われていません。今回の研究では、脳梗塞再発予防目的に未分画ヘパリンまたは経口活性化第Ⅹ因子阻害薬を使用した方の有効性と安全性（副作用）を調べることによって、脳梗塞再発予防効果を比較することを目的としています。

【対象】

2014年1月から2022年12月の間に当院において悪性腫瘍関連の脳梗塞に対し未分画ヘパリンまたは経口活性化第Ⅹ因子阻害薬にて入院治療を行った方

【方法】

診療記録より当院研究担当医師が情報を収集し、調査票へ記載します。記載したデータは研究代表者（藤沢市民病院 神経内科 山浦弦平）へ手渡しされ、管理・解析されます。この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがあります。

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は匿名化するため、氏名などの特定の個人を識別できるような情報が外部に漏れることはありません。

【利用する試料・情報】

診療記録（年齢、性別、発症時診察所見、既往歴、喫煙状況、血液検査所見、画像検査所見
脳血管イベントの有無、治療内容、治療期間 等）

【研究期間】

倫理委員会の承認が得られてから2022年12月31日まで

【研究者代表者】

藤沢市民病院 神経内科 山浦 弦平

【共同研究機関】

藤沢市民病院、横浜市立大学附属病院、横浜市立大学附属市民総合医療センター、横浜市立市民病院
横浜栄共済病院、横浜南共済病院、済生会横浜市南部病院、平塚共済病院

【当院の研究責任者】

脳神経内科 山口 滋紀

【連絡先】

横浜市立市民病院 〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町 1-1
電話 045-331-1961（病院代表） 脳神経内科 山口 滋紀

この研究の対象となる方またはその代理の方で本研究への参加を希望されない方は、上記の連絡先へお申し出ください。その場合でも、対象となる方に不利益が生じることはありません。

また、この研究の対象となる方またはその代理の方は、本研究の詳細（研究計画書及び研究方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手・閲覧することができますので、ご希望の方はお申し出ください。